

山形県地域協調型洋上風力発電研究・検討会議
遊佐沿岸域検討部会 先進地視察結果報告

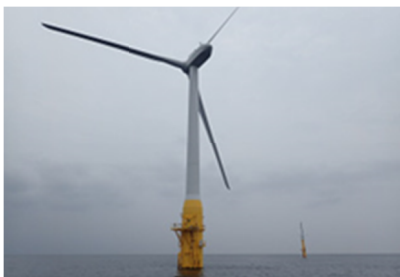
○視察概要

区分	内容		
時期	平成 30 年 9 月 19 日（水）～21 日（金）		
視察先	長崎県五島市		
主な行程	◇1 日目（19 日） 移動日 ◇2 日目（20 日） 意見交換会、関連施設等視察 現地視察① 潮流発電実証機 現地視察② 浮体式洋上風力発電所 現地視察③ 新型台船、燃料電池船 意見交換 （一社）海洋エネルギー漁業共生センター ◇3 日目（21 日） 関連施設等視察、移動 現地視察④ 風力メンテナンス会社―（有）イーウィンド		
参加者	No.	氏名	所属・職
委員	1	佐藤 幸一	蕨岡まちづくり協会 会長
	2	佐藤 憲三	遊佐地域づくり協議会 会長
	3	伊藤 新一	西遊佐地区まちづくりの会 会長
	4	伊原 光臣	山形県漁業協同組合 理事
	5	西村 盛	山形県漁業協同組合 参事
	6	佐藤 豊昭	遊佐町環境審議会 委員
	7	三木 潤一	東北公益文科大学 准教授
	8	庄司 茂正	遊佐鳥海観光協会 理事長
	9	佐藤 廉造	遊佐町産業課 課長
	10	佐藤 年彦	庄内総合支庁水産振興課 課長補佐
事務局	山形県	中川 崇	エネルギー政策推進課 課長
		鏡 裕之	エネルギー政策推進課 課長補佐
		縮 潤一	エネルギー政策推進課 主査
	(株)建設 技術研究所	齋藤 大樹	地球環境センター 主幹
		劉 雨晨	地球環境センター 技師

○視察の結果

項目	意見交換における主な提言
漁業協調 (五島ふくえ漁協 熊川組合長)	<ul style="list-style-type: none"> 五島市梶島沖における実証事業の段階では、普段利用しないようなエリアでも一部漁業者から否定的な意見があがったため、事業者が漁業者に丁寧にヒアリング等を行い、漁業者の了承を得た上で場所を決めた。あきらめずに丁寧に説明することが重要である。 漁業振興のため、風力発電事業による基金の設置を検討している。 風車が漁礁になり、風車を立てたほうが経済的メリットが大きくなる。風力発電事業のおかげで新たな漁礁がつけられたと積極的に考える漁師もいる。
景観 (海洋エネルギー漁業 共生センター渋谷氏) (五島市役所)	<ul style="list-style-type: none"> 景観問題は世界中に出てくる問題だが、風車の建設が景観上プラスと捉えることも重要である。デンマークでは、風車の設置場所を工夫した結果、風力発電所が撮影ロケーションにもなり、地域への経済効果もある。早い段階で、事業者と一緒に風車設置のシミュレーションすることを推奨する。 市民の理解促進のため、毎年市民見学会、シンポジウム等を啓蒙活動の一環として行っている。風車建設後、住民から景観上に関する苦情は出ていない。
地域協調 (五島ふくえ漁協) (共生センター) (五島市役所) (メンテ会社)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民において不安な声もあったが、実証実験の結果に基づき、丁寧に理解促進を図ることが重要と考える。 風車を建設する前に、鳥類等の環境影響評価結果を住民に公開した。住民から大きな反対意見はなかった。 風力発電事業者は、資金調達から、建設までを全面的に行っており、地域との協調も意識して進めたため、地元との大きなギャップが生じなかった。 地元と事業主体で事業イメージを共有し、事業を進めていくことが重要である。関係主体がともに学び、成長することが可能となる。 地元の風力発電設備のメンテナンス会社が、地元雇用の創出（毎年地元から10名程度の採用）による地域貢献をしている。

視察状況



浮体式洋上風力発電所



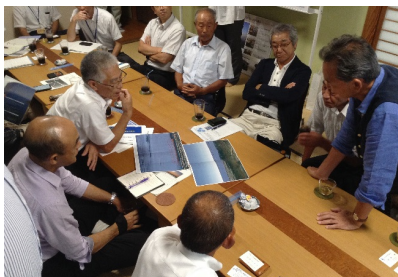
福江港で風車に関する説明の様子



新型台船に関する説明の様子



燃料電池船に関する説明の様子



意見交換会の様子



(有)イーウィンドから風車メンテナンス事業に関する説明の様子